

横浜市磯子区生活支援センター 平成23年度事業報告書

I 事業実施状況

磯子区生活支援センターは、次の機能を重点に、計画に沿って事業を実施しました。

- ① 生活相談（日常生活に関する問題・課題を解決する支援）
- ② 生活支援（生活への直接的サポート）
- ③ 地域連携・地域交流（地域のネットワーク構築）

1 実施事業

精神等に障害のある人が地域で安心できる生活を保障するため以下の支援事業を行いました。

利用者登録状況（平成24年3月末現在）

925人*前年同月比 98人増

男女別内訳 男性 515人 女性 410人

区別内訳 磯子区405人 金沢区140人 港南区85人 南区83人

中区 44人 その他市内134人 市外34人

（1）横浜市における一次相談機関としての機能

面接相談、電話相談、訪問相談等問題解決に向けて様々な相談を受け支援を実施しました。

ア 面接相談

プライベートなことなど面接室で相談を承りました。

面接相談 3,668件

イ 電話相談

様々な相談を承り安心をお届けしました。

電話相談 15,159件

ウ 訪問・同行

来所困難な人には訪問を実施し、積極的に相談に応じ支援しました。一人では精神科等の医療機関に受診できず他に方法のない場合は同行しました。また、定期的な訪問支援や同行支援が必要な場合、個別支援計画に則り計画的な訪問・同行を実施しました。

訪問同行 178件

(2) いつでも利用できる居場所の提供

利用者が気軽にセンター内で過ごせるように館内を提供しました。

また、館内で過ごす利用者からの相談に積極的に応じました。

居場所提供	10,681件
-------	---------

(3) 精神科・内科の専門医相談

ア 精神科 月3回

イ 内科 月1回

精神科相談回数	36回	内科相談回数	12回
相談者数	43人		

(4) 夕食サービスを実施しました。

夕食サービス利用者	5,997人
-----------	--------

(5) 入浴サービスを実施しました。

入浴サービス利用者	1,563人
-----------	--------

(6) ランドリー利用サービス（洗濯機・乾燥機）を実施しました。

ランドリー利用サービス利用者	389人
----------------	------

(7) インターネット利用サービスを実施しました。

インターネットサービス利用者	661人
----------------	------

(8) 自主企画事業

スタッフが企画をしているプログラムの他に利用者と一緒に作り上げていくプログラムや利用者が中心となって企画運営を行うサークル活動などを実施しました。

昼食会・クリスマス会	12回開催	128人参加
利用者ミーティング	13回開催	70人参加
書道教室	12回開催	50人参加
カフェ De 屏風ヶ浦	42回開催	298人参加
季節行事（初詣、お花見等）	4回開催	22人参加
5周年記念感謝祭	1回開催	735人参加
歌声広場	12回開催	89人参加
アートしま専科	12回開催	66人参加
シニアの会	8回開催	30人参加
ラジオ体操の会	3回開催	14人参加
統合失調症の当事者学習会	3回開催	16人参加
うつ病の当事者交流会	12回開催	49人参加
利用者向け運営報告会	2回開催	19人参加
屏風ヶ浦ヒストリー講演会	2回開催	19人参加

2 精神に障害のある人の社会復帰、自立および社会参加のための事業の実施

(1) 地域移行・地域定着支援事業（※新規事業）

入院が長期化せず、地域に定着できるように退院の支援を行うとともに、また、退院後も安定した生活が送れ、再び入院することがないように支援をしました。

支援者	3人（平成23年度末現在）		
支援件数	329件（電話、面接、同行、訪問支援）		
啓発活動	市内病院職員向け説明会（横浜市事業）	4月開催	職員2人参加
	日野病院 職員・入院患者向け事業説明会	6・7月開催	21人参加
	芹香病院 職員向け事業説明会	7・10月・2月開催	91人参加
	丘の上病院 職員向け事業説明会	2月開催	44人参加

(2) 自立生活アシスタント事業（※新規事業）

ア 利用者の地域生活を支援するために事業を実施しました。また、他の福祉サービスや総合保健医療財団とも連携して単身生活等がしやすくなるように支援しました。

イ 訪問による生活支援や対人関係のコミュニケーションの支援などを行いました。

支援者（調整中も含む）	13人（平成23年度末現在）
支援件数	767件（面接、電話、訪問、同行、その他支援）

(3) 就労支援事業

横浜市精神障害者就労支援センターと連携し、就労相談のみならず、「就労者の会」の開催など就労後の職場定着支援を実施しました。

就労者の会	4回開催	15人参加
-------	------	-------

II 地域における協働・連携の推進

地域の様々な機関やご家族に向けた5つの基本方針

- ①日常的で具体的な連携、②顔の見える連携、③相互にメリットを共有できる連携、④新たな支援サービスを生み出す連携、⑤協働を前提とする連携

に沿って事業を実施しました。

- 1 区役所、区社会福祉協議会などとの共催で当事者・家族・市民向けに、啓発のための講座を開催しました。

ボランティア講座	6回開催	13人参加
----------	------	-------

- 2 地域に貢献し、機関の支援機能を高めるため、知的・身体を対象とした地域自立支援協議会などに参加し連携を行いました。

磯子区自立支援協議会	発達障害児・者ネットワーク連絡会（はっちネット）
横浜市生活支援センター連絡会	通所施設などの運営委員会
その他委員会等	会等

- 3 ボランティアの育成や啓発活動も積極的に行い、ボランティアの育成とその活動・交流を支援しました。当センターでは調理や話し相手などの具体的な場面で、積極的にボランティアを導入しました。

フロアでの麦茶サービス、プログラム参加（昼食会、季節行事等）、5周年記念感謝祭などにボランティアを導入

- 4 運営連絡会を設置し、その委員については地域を代表する皆様、地域の精神障害関係機関、社会福祉協議会、行政等からの参加をいただき、支援センターの運営についてご意見を賜り、地域との連携を図ってきました。

5月、11月	2回開催
--------	------

- 5 ご家族の相談及び家族間交流に対する支援として、家族教室の開催や磯子区家族会などとの交流を行い、ご家族の抱える課題や不安を受け止め適切な支援及び情報の提供を行いました。

統合失調症の家族交流会、家族学習会	7回開催	71人参加
うつ病の家族交流会	12回開催	90人参加

Ⅲ ご利用者に対する事故対策、緊急対策などの安全管理

- 1 事故の発生を未然に防ぐため、日ごろからの安全管理意識を高め、想定される事故に対して、整備している安全管理マニュアルに基づきそれぞれ事故の対応を行いました。
- 2 食の安全に注意をして、食中毒を起こさないように安全管理を徹底しました。
- 3 屏風ヶ浦地域ケアプラザと共同で防災訓練を実施しました。
- 4 横浜市との協定に基づき、非常災害時の地域の避難拠点として機能してきました。

防災訓練（屏風ヶ浦ケアプラザと共同）	10月	3月	2回開催
--------------------	-----	----	------

Ⅳ 個人情報管理の取り組み

個人情報の保護とリスクマネジメントの徹底により利用者に信頼と安心を提供しました。当財団においては、「財団の保有する個人情報の保護に関する規程」を制定し、個人情報の適切な取り扱いに関し、必要な事項を定めるとともに、個人の権利・利益を保護するために、個人情報漏洩事故防止マニュアルを作成し、職員研修を行いました。

特に生活支援センターは、書類、映像、写真、パソコン、メモリースティック、DVD 等の様々な個人データの管理について、保護の徹底を図りました。

Ⅴ 人材育成・資質向上

生活支援センター職員は、常に精神等に障害のある人たちが置かれている現状に問題意識を持ち、研修にも積極的に参加し、また、職場においてスーパーバイズを取り入れて職員の資質の向上に努めました。

また、日々の職員ミーティングや月1回の職員全体会議において、利用者の状況を常に把握し、個別支援のケースカンファレンスを行いました。

なお、すべての人の人権を尊重し、事業の実施に当たってはていねいな言葉遣いと、心のこもった対応を心掛けて、皆様の自己実現のために支援をしました。

また人材育成機能を発揮し、精神保健福祉士などの実習生を受け入れ、育成しました。

精神保健福祉士 実習 5人 受入れ

Ⅵ 苦情の解決

提供したサービスに関するご利用者又はご家族等からの苦情について迅速かつ適切に対応するために、苦情受付の窓口を設置し必要な措置を行いました。

Ⅶ 虐待の防止

ご利用者の人権を擁護し、虐待等の防止の徹底を図りました。

Ⅷ 利用拡大のための広報計画

- 1 毎月「生活支援センターだより」を発行し、市内の関係機関（医療機関・作業所・グループホームなど）に配布しました。
- 2 区内のみならず近隣の関係機関にも足を運び利用の広報に努めました。

生活支援センターだより	毎月発行（10月よりA4版からA3版に変更）
広報紙「うえるかむ」	区内全域の回覧版で回覧
ホームページの改訂	10月から改訂版で提供
プロモーションビデオの作成	感謝祭において来場者向けに放送
パンフレットの更新	施設紹介のパンフレットを更新改訂

Ⅸ 地域ケアプラザ巡業（普及啓発）

磯子区内の地域ケアプラザ数か所を拠点として、精神障害に関する情報を発信して、障害への理解や生活支援センターの利用を促進しました。

根岸地域ケアプラザ	「心の健康相談会」	毎月開催	
	講演会「統合失調症について」	11月開催	5人参加
	講演会「うつ病について」	3月開催	9人参加
屏風ヶ浦地域ケアプラザ	講演会「うつ病について」	3月開催	11人参加
滝頭地域ケアプラザ	講演会「うつ病について」	6月開催	20人参加
	講演会「統合失調症について」	12月開催	18人参加
新杉田地域ケアプラザ	講演会「うつ病ってなに」	3月開催	9人参加
上笹下地域ケアプラザ	講演会「うつ病について」	12月開催	12人参加
	講演会「統合失調症について」	2月開催	20人参加
汐見台地区民生委員児童委員協議会勉強会	10月開催		
屏風ヶ浦地区民生委員児童委員協議会勉強会	2月開催		

X その他

- 1 来館が遠のいている人への声かけ

毎月の所内会議において「来館が遠のいている人」の抽出をして、電話で近況を確認し、来館に繋がった人も多くいらっしゃいました。

フォロー件数	434人		
（状況が確認できた人数	308人	その後来館された人数	98人）

2 来館ご利用者の身近な支援者として、気軽に声がかけられる関係作りを心がけました。
「一声運動」として職員がフロアに出て来館ご利用者に声かけをしました。

また、フロアに麦茶コーナーとしてカウンターバーを設け、それを媒体として、職員に気軽に声かけができるようにしました。カウンターバーは、主にパート職員の出勤日とその他の日にはボランティアの人が夫々担当して利用者とのコミュニケーションの場として大いに利用されてきています。

カウンターバー利用によるコミュニケーション実績

1,884人 月平均 157人

横浜市磯子区精神障害者生活支援センター 平成 23 年度 利用状況及び支援内容

(1) 利用状況及び支援内容

(人)

(日)

全体	内訳					
	本人(男性)	本人(女性)	家族	ボランティア等	電 話	訪問同行
26,319	6,497	3,737	447	301	15,159	178

開所日数
354

(2) 相談支援

ア 相談支援

(人)

合計	電話		面接		訪問・同行		面接(非構造)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
19,005	7,369	7,790	723	394	67	111	1,760	791
1 日平均	42.8		3.2		0.5		7.2	

イ 嘱託医相談

(人)

嘱託医相談(精神科・内科)				
実施回数	合計	男性	女性	家族等
48 回	43 人	15	22	6

(3) 生活支援

(人)

食事サービス			入浴サービス			洗濯サービス		
合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
5,997	4,001	1,996	1,563	856	707	389	203	186
1 日平均	16.9		1 日平均	4.4		1 日平均	1.1	

(人)

インターネットサービス		
合計	男性	女性
661	322	339
1 日平均	1.9	

(4) 利用登録内訳

ア 男女別・年齢別

(人)

(歳)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	2	41	121	187	103	61	515
女性	3	41	123	133	62	48	410
合計	5	82	244	320	165	109	925

最高	最低	平均
85	14	45.0
79	17	43.7
85	14	44.4

イ 区別内訳

(人)

鶴 見	神 奈 川	西	中	南	港 南	保土ヶ谷	旭	磯 子	金 沢
6	15	2	44	83	85	18	13	405	140
港 北	緑	青 葉	都 筑	戸 塚	栄	泉	瀬 谷	市 外	合 計
8	8	4	4	23	16	10	7	34	925

(5) 自主企画事業

スタッフが企画をしているプログラム以外に利用者と一緒に作り上げていくプログラムや、利用者が中心になって企画運営を行うサークル活動等を実施しています。

(人)

名 称		回数	参加人数
プログラム・行事	利用者ミーティング	13	70
	昼食会・クリスマス会	12	128
	書道教室	12	50
	5周年記念感謝祭（2日間）（屏風ヶ浦地域ケアプラザと合同）	1	735
	カフェ De 屏風ヶ浦	42	298
	季節行事（初詣、お花見、年賀状づくり）	4	22
サークル	楽器を鳴らす日	12	89
	アートの会	12	66
	シニアの会	8	30
	ラジオ体操の会	3	14
その他	統合失調症の当事者学習会	3	16
	うつ病の当事者交流会	12	49
	磯子区生活支援センター運営連絡会	2	52
	利用者向け運営報告会	2	19
	防災訓練（屏風ヶ浦地域ケアプラザと合同）	2	22
	就労者の会	4	15
	屏風ヶ浦ヒストリー講演会、パネル作成の会	2	19
合 計		146	1694

(6) 地域交流

地域の関係機関、団体及び地域住民との連携や交流をしています。

(人)

名 称	回数	参加人数
根岸地域ケアプラザ相談会	12	12
ボランティア講座、講座打合せ	6	13
なぎさ会（家族会）総会、例会	12	18
通所施設（工房タッチ、シャロームの家、いぶき）運営委員会・総会	10	10
その他	3	4
合 計	43	57

(7) 地域会議等

区の自立支援協議会を始め、地域の会議に参加し、課題の把握や情報の共有化等を行っています。

(人)

名 称	回数	参加人数
磯子区自立支援協議会	7	7
発達障害児・者ネットワーク連絡会(はっちネット)	12	14
横浜市生活支援センター連絡会(研修含む)	7	9
その他	10	10
合 計	36	40

(8) 家族支援及び地域支援事業

統合失調症の方のご家族、うつ状態の方の家族への支援及び地域住民への普及啓発を行っています。地域住民向けの普及啓発では、地元自治会や地域ケアプラザの協力を得て開催することができました。

(人)

名 称		回数	参加人数
統合失調症「家族交流会」、「家族学習会」		7	71
うつ病「家族交流会」		12	90
地域住民向け教室	民生委員児童委員協議会勉強会	2	—
	地域ケアプラザとの共催	8	104
合 計		29	265

(9) 普及啓発

毎月発行している「センターだより」とは別に、広報紙「うえるかむ」を地元町内会、区内地域ケアプラザ、地区センター等へ配布し、地域住民への普及啓発に取り組んでいます。また、施設紹介のパンフレットを更新発行しました。

(10) 地域移行・地域定着支援事業

平成23年度から新規事業として実施しています。

平成23年度は、3人に支援を行いました。

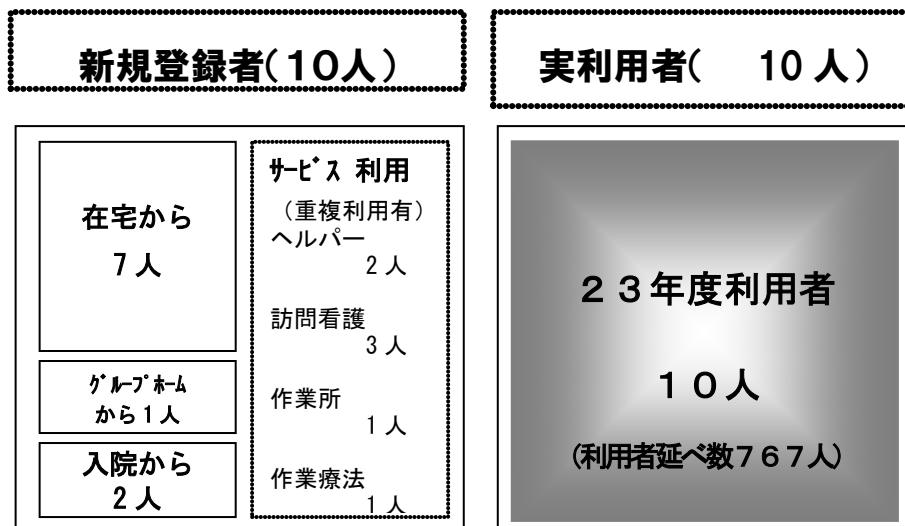
支援対象者数	病 名	帰 結	退院後の帰来先
3人	・統合失調症 2人 ・その他 1人	・退院 0人 ・支援継 3人 ・支援終了 0人	・生活訓練施設 0人 ・自宅 0人 ・救護施設 0人

23年度は、日野病院、芹香病院及び丘の上病院で当事者及び病院関係者を対象として、同事業の啓発活動（体験発表・資源紹介・交流会）を実施しました。（延べ156人参加）

(11) 横浜市障害者自立生活アシスタント事業

単身等で生活する方を対象に、アウトリーチ（訪問）による生活支援を展開します。平成 23 年度より、当支援センターにおいて事業を開始しました。「自分にあった片づけ方を知り、生活空間を居心地よくしたい」「グループホームから出て一人暮らしをするのでサポートを受けたい」「金銭管理がうまくできるようになりたい」などのニーズに個別に対応しながら、地域のサービスへの橋渡し、支援ネットワーク作りなどを行います。本人の強み（長所）を活かした支援、本人にとってより自分らしい生活を目指します。

平成 23 年度 自立生活アシスタント 利用者の状況



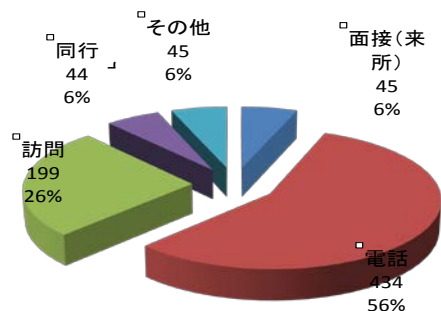
23年度利用者の状況、支援方法・内容

<世代別・男女別>						
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	1	1	1	0	1	4
女性	0	1	2	2	1	6
計	1	2	3	2	2	10

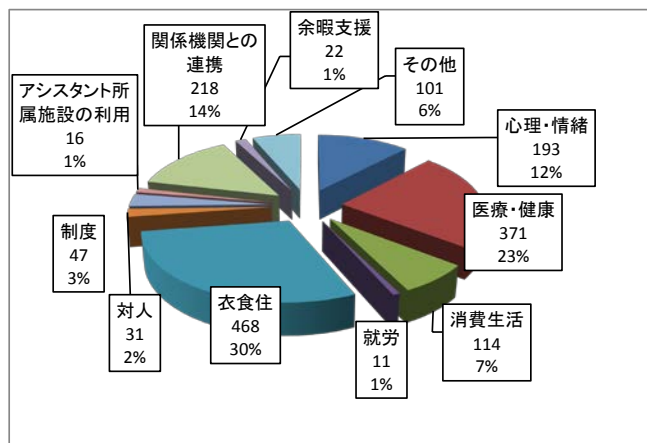
<利用目的>					
①自立生活 (②以外)	②自立生活 (同居家族の高齢化・死亡)	③退所後の 生活安定	④退院後の 生活安定	⑤その他	合計
6	0	1	3	0	10

<世帯状況>		
家族同居	単身	合計
1	9	10

支援方法(767件)



支援内容(1592件)



平成23年度横浜市精神障害者生活支援センター精算内訳

施設名：横浜市磯子区精神障害者生活支援センター

運営法人：財団法人横浜市総合保健医療財団

【支 出】

科 目		当初予算額				執行額				差引増△減			
		計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント
人件費		56,225,000	37,672,000	6,184,000	12,369,000	56,491,403	37,849,240	6,214,054	12,428,109	△ 266,403	177,240	30,054	59,109
	所長	3,743,000				3,818,064				△ 75,064			
	常勤職員	26,449,000				28,619,428				△ 2,170,428			
	非常勤職員	12,349,000				11,915,361				433,639			
	アルバイト	2,350,000				1,134,162				1,215,838			
	調理アルバイト	2,406,000				2,408,348				△ 2,348			
	嘱託医賃金	1,008,000				252,000				756,000			
	法定福利費	6,028,000				6,520,286				△ 492,286			
	退職給与引当金	1,700,000				1,639,115				60,885			
	福利厚生費	54,000				60,000				△ 6,000			
	労務厚生費	138,000				124,639				13,361			
施設管理費		4,530,000	3,714,000	453,000	363,000	4,314,068	3,537,536	431,407	345,125	215,932	△ 176,464	△ 21,593	△ 17,875
	光熱水費	1,634,000				1,716,304				△ 82,304			
	庁舎管理	2,698,000				2,792,964				△ 94,964			
	修繕積立金	300,000								300,000			
	入浴サービス等実費徴収額	△ 102,000				△ 195,200				93,200			
運営費		3,470,000	2,844,000	348,000	278,000	3,068,844	2,516,452	306,884	245,508	401,156	△ 327,548	△ 41,116	△ 32,492
	旅 費	415,000				273,540				141,460			
	消耗品費	776,000				451,460				324,540			
	印刷製本費	126,000				90,706				35,294			
	修繕費	300,000				127,045				172,955			
	通信運搬費	538,000				689,113				△ 151,113			
	賃借料	401,000				445,320				△ 44,320			
	備品等購入費	383,000				63,735				319,265			
	保険料	110,000				101,180				8,820			
	雑費	421,000				826,745				△ 405,745			
本部繰入金		0				0				0			
合 計		64,225,000	44,230,000	6,985,000	13,010,000	63,874,315	43,903,228	6,952,345	13,018,742	350,685	△ 326,772	△ 32,655	8,742